

いよいよ、キャラクター “ニーラ” が本格始動！



昨年7月、蕪崎市を舞台とした一冊の絵本が誕生しました。それが、東京ディズニーランドの総合プロデューサー堀貞一郎氏による絵本「ニーラ」です。

10月のふるさとまつりには、物語に登場する“魔法使いのカエル”ニーラの着ぐるみもできあがり、蕪崎市のイメージキャラクターとして市民のみなさまにお披露目しました。

この“ニーラ”がいよいよ本格的に活動を開始し、あたらしいまちづくりの一環として“蕪崎市”をPRしていく予定です。YouTubeに映像を流す計画も進んでいます。

そこで、「ニーラ」生みの親のおひとり、絵本作家の仁科幸子さんにお話を伺いましたので、ご紹介します。

にしな さちこ 仁科 幸子 プロフィール



山梨県大月市生まれ。多摩美術大学立体デザイン科卒業。

日本デザインセンター、永井一正のもと、アートディレクターとして活躍後、絵本作家として独立。

絵本に「クローバーのくれたなかなおり」「はりねずみとちいさなおとなりさんシリーズ」（フレーベル館）、「はなのがっこう」「よるがきらいなふくろう」（偕成社）他多数。

絵本「ニーラ」を希望の方は
市役所2階商工観光課まで。
1,600円（税別）

蕪崎市にどんな印象を持ちましたか？

この絵本「ニーラ」のお話は2～3年前から進んでいたもので、蕪崎市にはそのころから何度か訪れていました。

まず、蕪崎に来て本当に驚いたのは、**すごく空気感が上品なこと**です。このちっちゃな地区（大月もそうなんですが）なのに、町の真ん中に七里岩が通っている景観がすごく珍しいし、わに塚のサクラ、そして武田信玄公のふるさとの史跡、宝塚の創始者の「小林一三」、それから宮沢賢治の親友「保阪嘉内」などいろんなものがありますよね。とにかく七里岩の奇妙な景観に感激して、それから蕪崎の文化性に驚きましたし、すごい財産、宝物を秘めている場所だなあって本当に感激しました。実際に暮らしている人は、こういうことに自分たちは気づかないんです。

蕪崎は、**文化と自然が結びついているところ**だと感じましたね。文化が本物でないとだめなんです。ただ何もなくてから「物語」を作るってことは出来ないんですよ。

ニーラ誕生秘話

堀先生とは以前に、山形県の「最上川物語」という童話を出したときから、お付き合いが始まりました。

この絵本には、実は本当に“構想段階”から係わってきたんですよ。

私は絵を描くビジュアルの担当だけど、画家が実際にその場所を知るとはとても大切なことなんです。私が蕪崎の風の音や匂いや風景（物語の舞台の穂坂など）を実際に知ったことで、いかにも魔法のカエルが出てきそうな神秘的な空気感を感じて「魔法使いのカエル、緑色の星のカエル」って聞いたときにすぐに、こんな風にマフラーを巻いてとか・・・今のニーラの絵がすぐに浮かんだし、ファンタジックな空気感に出来ました。

「ニーラ」を読んだ子どもたちに感じてほしいことは？

本当の魔法は、「魔法使いサリー」や「コメットさん」みたいにパパッと魔法をかけてもらえば夢が叶ったり、努力が報われるのではなくて、自分が努力をした結果、思ってもみなかったような「素敵」に出会ったりできることが夢を叶えるということだと思っんです。

どうしてニーラがさっちゃんの願いをかなえてくれたのか・・・ということはこの物語の中から子供たちには読み取ってほしいですね。

ただニーラに会えば夢を叶えてくれると物語を履き違えてほしくないんです。日々の生活の中の「見えないところに大切なことがある」ってことを感じてほしいし、普通の幸せを手に入れることが実は本当に難しいということを知ってほしいです。もし、ニーラが目の前に現れたときに「私はこんなにがんばったよ。だから願いを叶えてね。」って言える、そういう風にがんばってほしいと思います。

もしニーラに会ったら（子供のころ/そして今）どんな願いごとをしますか？

そうだなあ・・・単純に、クラシックバレエを習ったり、走ったり跳び箱とかは得意だったんだけど、空がぐるっと回るのが怖くて、“さかあがり”がどうしても出来なかったので、「さかあがりが出来るようにしてください！」とお願いする気がします。

今だったら、私は本当に精霊や妖精はいるって信じていて、その私が愛し、力をもらっている「すべての生き物や森、植物・・・環境、地球のために貢献する創作」をするための“勇気と力と才能”をニーラにくださいって、お願いするかなあ。

それで今回、人の夢をつむぐというこの「ニーラ」の物語に係わることが出来て、堀先生や関係した方々、そして蕪崎市にとっても感謝しています。

これからの蕪崎市（ニーラの活動も含めて）に期待することは？

世界や日本も不景気や温暖化で、夢や希望がない時代の今だからこそ、人間の智慧と創造力が問われています。もちろんご飯を食べないと死んじゃうけど、人間は文化がなくなると魂が枯れてしまいます。

蕪崎は、より人間らしい生活がおくれる場所、その魅力を初めから持っている場所だと思います。なにより素材があるのですから、創造力や活性化のアイデアで蕪崎がそうゆう元気な所になってほしいですね。「ニーラ」がそのきっかけになれば良いと思っています。

今回のYou Tubeなどの活動も一時期だけのブームで終わらずに、息の長い活動を続けていっていただきたいし、蕪崎が全国にじわじわと浸透するっていうか、まず、市民のみなさんに喜んでもらうことが大切で、ニーラがみんなの心に息づきながら、2年、3年後に効果が出てくるような活動が望ましいのではないのでしょうか。

とにかく蕪崎には本当に本物がたくさんあるので、ニーラのことだけでなく、いろんな活動ができると思います。

★ニーラ 写真掲示板★

— 新府桃の花見会（4月11日） —



今後のニーラ登場情報も随時お知らせします。

韮崎にSLが
やってくる！



JR東日本では、今年4月から6月の3ヶ月間、やまなし観光推進機構と協働して、山梨の魅力や観光情報等を発信する「山梨・中央線キャンペーン」を実施します。

その一環として甲府⇄小淵沢間で、SL列車を運行します。

ホームの構造上、韮崎駅には停車できませんが、これに伴い多くの観光客や鉄道ファンの皆さんが沿線に集まること予想されます。ぜひとも皆さまの温かいおもてなしの心でお迎えください。

山梨では2年ぶりのSL運行となります。この機会に、SLの勇姿をお楽しみください。

迫力あるSL汽笛と煙

SLといえば「汽笛と煙」。今回の運行では、汽笛を鳴らし、昔懐かしいSLの煙も見られます。

なお、このSLの煙は、質の高い石炭を使用するため、煙害の心配はほとんどありません。白い煙のように見えるのは水蒸気です。

運行スケジュールと指定券の購入

- SL列車は全席指定席です。
各運行日の1ヶ月前の10時より「みどりの窓口」で発売となります。
- SL列車運行日
5月29日(土)・30日(日)
6月5日(土)・6日(日)
- ※上記のほか、
訓練運転を5月22・23・25～27日に行います。

甲府駅	10:02 発
竜王駅	10:10 着
	10:12 発
日野春駅	10:52 着
	11:11 発
小淵沢駅	11:33 着



- お問い合わせ
JR東日本 八王子支社営業部販売促進課
☎042-620-8540
社団法人 やまなし観光推進機構
☎055-231-2722



見学や写真撮影の際には、他人の敷地や沿線上の危険な箇所へは立ち入らないようお願いします。一人ひとりがマナーを守りましょう。

遊びに来てね!

中央公園にSLもあるよ!!



【お問い合わせ】
建設課 都市計画担当
(内線250・251)

- 運行期間・時間
4月～10月の日曜・祝日
10時～12時
13時～16時
(雨天時は運休する場合があります)

- 運賃
大人・子供共 1回100円
(3才以下は親と同乗で無料)
- こどもの日は、全員無料!!**

南アルプスの 世界自然遺産登録をめざして

南アルプスの自然環境と貴重な動植物を共有の財産として
未来に残していくため、南アルプスの素晴らしさを紹介する
講演会と総会を開催します。

■日時
5月15日(土)
13時〜(開場12時)

■場所
東京エレクトロン
葦崎文化ホール(小ホール)

■内容

- ①開会セレモニー
- ②協議会総会
- ③記念講演
◇「南アルプスの魅力について」
― 山梨県立文学館館長 近藤 信行氏 ―
- ④基調講演
◇「ユネスコ・エコパークの
現状と南アルプス登録の条件」
― 横浜国立大学教授 松田 裕之氏 ―

- ◇「世界自然遺産登録に向けた
現状と展望」
― 環境省世界遺産専門官 羽井 佐幸宏氏 ―

■主催
南アルプス世界自然遺産登録
推進協議会

■お問い合わせ
商工観光課観光担当(内線213)

ハロー!! “ケリーのワンポイント英会話”



こんにちは。ケリーのワンポイントレッスンです!

今月は、食べ物についてのミニ知識を!!

ハンバーガーやホットドッグ、最近ではベーグルなんてみなさんよく使いますよね。日本語と同じで英語もたくさん外来語を使ってるんですよ!

“スシ、テンプラ、サケ”なんて、最近の言葉なんて、ほとんどのアメリカ人が日本語だって知ってます。

でも昔むか〜しからある言葉って、ホントはどこ言葉??って思うものがあります。

例えば、Beef(ビーフ/牛肉)ってCow(カウ/牛)とまったく違うのに気づきました?

食材になっちゃうと別の言葉になっちゃうんですよね。Pig(ピッグ/豚)とPork(ポーク/豚肉)、Sheep(シープ/羊)とMutton(マトン/羊肉)、Calf(カーフ/子牛)とVeal(ヴィール/子牛肉)、Deer(ディア/鹿)とVenison(ヴェネソン/鹿肉)などなど。なぜなのでしょう?

実は動物の名前は英語なんですが、食べ物の名前になるとフランス語だからです。

11世紀にイギリスがフランスに侵略された時、フランス語をたくさん取り入れたからなんです。フランス語を使うとおしゃれに聞こえたんですね。

今でもフランス料理ってなんとなくおしゃれですもんね。

みなさんもビーフやポークって使ってると思いますが、ホントはフランス語だって知ってました?

それじゃ、また来月お会いしましょう!

